

令和3年度 小戸公園 事業評価シート

【 指定管理者名 株式会社環境開発 】

各項目の評価基準

評価	評価	提案事項	管理水準
5	10	提案事項を実施し、優れた成果を発揮している。加えて新規事項など評価できる取り組みがある。 (成果指標達成項目数80%以上かつ、新規事項など評価できる取り組みがある場合)	本市が求める管理水準よりも優れた成果をあげている。
4	8	提案事項を実施し、優れた成果を発揮している。 (成果指標達成項目数80%以上) (標準レベル)	本市が求める管理水準を達している。(標準レベル)
3	6	提案事項を実施している。 (成果指標達成項目数50%以上80%未満)	一部、本市が求める管理水準を達していない。
2	4	提案事項を実施したが期待した成果が得られていない。 (成果指標達成項目数50%未満)	ほとんど、本市が求める管理水準を達していない。
1	2	提案事項未実行している。 (提案事項を未実行していないことに正当な理由がない)	公園管理上著しい欠陥があるなど、本市が求める管理水準を達していない。

評価	総合点
A	85点以上
B	80点以上85点未満
C	70点以上80点未満
D	60点以上70点未満
E	60点未満以下

項目	配点	備考	委員会評価	
			評価点	コメント
(1) 利用者サービスの向上策	20		15	
① 高齢者・障がい者・乳幼児などの社会的弱者や、その他顧客のニーズに応じたサービス向上のための取り組みができていないか。	10	提案事項	8	①市が求める管理水準である(標準レベル)。 ②アンケート未実施のため減点。 ③市が求める管理水準である(標準レベル)。
② 利用者のニーズ把握のための調査への取り組みができていないか。	5	提案事項	3	
③ 条例・公園管理マニュアルを理解し、利用の承諾(優先利用を含む)について適正に実施しているか。	5	管理水準	4	
(2) 利用者の適切利用に向けた取組	5		4	④市が求める管理水準である(標準レベル)。
④ 利用者の適正利用に向けた取組ができていないか。	5	提案事項	4	
(3) 公園施設の適切・効率的な維持管理	25		23	
⑤ 提案の内容に適した維持管理計画ができていないか。	10	提案事項	10	⑤利用者要望もふまえ、協定で定める維持管理の範囲を机テーブルやベンチの修繕を多数実施した点が評価できる。 ⑥県主催の防災訓練において、救助ヘリ警報における施設管理者として、これまでの実体験をふまえた確かな助言を行い、実践的な訓練に専与した点が高く評価できる。 ⑦市が求める管理水準である(標準レベル)。
⑥ 安全管理計画・緊急対応(災害・事故等)計画・保安整備計画ができていないか。	5	提案事項	5	
⑦ 実施協定書に記載されている管理頻度は達成されているか。	10	管理水準	8	
(4) 公園の特色を活かした事業展開	15		12	
⑧ 指定管理者企画事業による施設の活用はされているか。	10	提案事項	8	⑧市が求める管理水準である(標準レベル)。
⑨ 公園特色を活かす取り組み(集客向上策・広報計画)が出来ていないか。	5	提案事項	4	
(5) 運営体制と人材の確保	25		22	
⑩ 配置する予定職員が公園管理に必要な専門性・資格や経験職員の育成に必要な研修を行っているか。	5	提案事項	4	⑩⑪市が求める管理水準である(標準レベル)。 ⑫一度もミスすることなく、事務処理を行えた点が評価できる。
⑪ 地域と連携	5	提案事項	4	
⑫ 市担当者の指示又は協議事項を確実に実行しているか。	5	管理水準	4	
⑬ 協議録・日報・報告書等の関係書類が整理されているか。	5	管理水準	4	
⑭ 「歳入の手引き」を理解し、適切に実施しているか。	10	管理水準	10	
(6) 施設の管理運営に要する経費	5		4	⑭市が求める管理水準である(標準レベル)。
⑭ 施設管理に要する経費の範囲について、申請者が運営費見積提案書で提示した指定管理料の額、及び総額の具体的な項目、実施手法はできていないか。	5	提案事項	4	
(7) 団体の財務的基礎	-		-	
⑮ 借入金依存度	円	-	-	
⑯ 自己資本比率	円	-	-	
(8) 社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮	5		4	
⑰ 地域貢献や環境への配慮についてできていないか。	5	提案事項	4	⑰市が求める管理水準である(標準レベル)。
(9) その他実施計画書に記載されている事項	-		-	
⑱	-		-	
評価 総合点			B 84 /100点	(評価) スタッフによる修繕や補修を行い、修繕委託費を削減し、管理計画以上の修繕や補修ができたことが評価できる。 (課題) コロナ禍により、昨年度に引続き、市民より人気の高いバーベキュー広場が運用されず、また代替企画も行われなかった点は課題である。来年度に向けては、他公園の取組み事例研究などを取りながら、当公園においても魅力あるイベント開催を実施する必要がある。